

平成31年 群馬県校友会 新年会，学術講演会

平成31年1月27日（日）ホテルラシーネ新前橋にて群馬県校友会新年会，学術講演会が開催された。

当日は群馬県の季節柄，寒々しい北風が吹く天気ではあったものの，多くの校友の参加があった。これも本学校友の母校愛のひとつと思えた。

学術講演会では講師に新海航一新潟生命歯学部歯科保存学教室第2講座教授（70回）をお招きし，「歯科用レーザーを用いた齲蝕治療の新たな展開」を演題にご講演をいただいた。

レーザーの基礎知識から始まり一般的特徴，増幅原理，光学式齲蝕診断装置（ダイアグノデント，ダイアグノデント ペン）の臨床的有効性，問題点と対策などを聞くことができた。現在，治療用レーザーとして認可市販されているそれぞれの特徴を踏まえ，臨床としてどう使い分けていくのかを再確認できたかと思われる。今回の講演会の中で注目した

のがEr, Cr, YSGG レーザーと a-PDT であった。a-PDT とは抗菌的光線力学療法で光感受性の高い薬剤に対して主に半導体レーザーやLED による光を照射し，発生する活性酸素を利用する治療法である。日本での認可はまだ認められていないとのことだが，現在歯周病やインプラント周囲炎に応用された報告は多く，う蝕治療においてもメチレンブルーなどと活性波長をもつ光を組み合わせた a-PDT の殺菌効果，a-PDT で処理した象牙質に対するコンポジットレジン修復の接着強さなども検討，研究しているとのことであった。

講演会が終わり別会場へと移り，奥山文雄県校友会会長（64回）の挨拶で新年会が始まった。

奥山会長からは今年の校友会目標や現状報告などのお話があった。その後，来賓の倉治康男校友会本部専務理事（62回），新海教授よりご挨拶，近況報告をいただいた。

新年会では各々の抱負を胸に校友の頑張りを励みに，またこの一年，健康と多幸を願い，笑い声の絶えない新年会になった。

途中ビンゴゲームもあったが，ビンゴゲームに意識は集中せず校友との会話に花が咲き，新年会は閉会を惜しむほどの盛会であった。

（飯野裕文・86回記）



平成31年 群馬県校友会新年会，学術講演会 平成31年1月27日 於 ラシーネ新前橋